

日本放送協会岡山放送局長賞

私の初任給

岡山市立南輝小学校

六年生 山本眞奈

「いらっしゃいませ。」

私は今、おもちゃ王国スタッフの制服に身を包んで、チケット販売をしている。とてもワクワクしている。

私は、おもちゃ王国の「お仕事体験キッズチャレンジワーク」に参加した。残念ながら弟は落選した。悲しがっている弟の気持ちもふまえて、本気でがんばりたいと思った。

制服に着がえて、担当スタッフのお姉さんに、仕事をする上で的心得を教わった。主に笑顔、あいさつ、この二つがあった。これらを行うと、お客様が楽しい気分になるそう。確かに、笑顔はうれしくなるし、あいさつされると良い気分になる。その他にも色々なことを教わった。中でも、気をつけの仕方が

印象に残っている。学校で行う気をつけは手を横にする。だが、おもちゃ王国では手を前にする。その理由は、転びそうになっているお客様をすぐに手助けできるからだそう。気をつけにまでこだわることに、私はおどろいた。さすが子どもの夢の国だな、と思った。しかし、責任重大で自分に務まるか不安だった。

今回の仕事は四つある。一つ目はチケット販売、二つ目はアトラクションスタッフ、三つ目は花植え、四つ目はステージでダンスだ。この時私が一番楽しみにしていたのは、チケット販売だ。なぜなら、ふだんチケットを売るなんて子どものうちに行うことができるんじゃないかと思ったからだ。

ついにチケット販売が始まった。ここで一番気を付けたことはお金の計算だ。知らない人からお金をもらったり、おつりを返したりするから、とてもきんちようした。

「いらっしゃいませ。」

「かしこまりました。」

「四千円です。」

お客様に対して精一杯の大きな声で接客した。お客様は必ず最後に、

「ありがとう。」

と、そう言ってくれる。それがとてもむねにひびいた。この言葉のおかげで、次の接客もがんばろうと思えた。アトラクションスタッフも、花植えも、順調にがんばれた。そしてついに、ダンスがやってきた。

私はダンスが好きではない。しかも知らない人達の前でおどるなんて、とてもいやだった。だが、これは仕事だ。いやいやながらもちゃんとおどり切った。そのとき、ふとぎ問に思った。なぜお姉さんは笑顔で楽しそうにおどれるのだろう。お姉さんの笑顔は、太陽よりも輝いて見えた。はずかしくないのだろうか。お客様のためにそこまでするのだろうか。仕事って大変なんだと思った。でも逆に、働く大人ってかっこいい。そう思った。

全ての仕事が終了し、担当スタッフのお姉さんから、修了証書が授与された。とてもうれしかった。こんなに本格的な仕事をやりとげたのは、人生初めてだ。そして私服に着がえて制服を返しに行く。

「がんばったのでお給料です。」

と、お姉さんがお給料を渡してくれた。知らされていなかった

ので、私は飛び上がるほどうれしかった。中には、おもちゃ王国で使える五百円分の金券が入っていた。その初任給で、フライドポテトと、自分用のお土産を買った。人生で一番心がおどる買い物だった。両親や祖父母からももらったお金ではなく、自分でかせいだお金というのが一番ほこりしかった。

今回の経験を通じて、働く本当の意味が分かった気がする。今まではお金のために働くと思っていたが、お金が全てではないことに気が付いた。確にお給料をもらったらとてもうれしい。だけど、それよりも来てくれたお客様のことを一番に考えることが大切だと分かったからだ。笑顔やあいさつ、気をつけるの仕方まで、なにからなまでにこだわり、お客様をおむかえするおもちゃ王国のスタッフにとっても感動した。私が将来大人になって働くようになったら、今回教わったことを忘れずに、笑顔で明るくかっこいい人になりたい。